

軽微な変更説明書

先に確認済証の交付を受けた下記計画について、建築基準法施行規則第3条の2に規定する軽微な変更がありましたので、当該変更の内容を下記のとおり説明します。

1. 確認番号 建築主等	確認番号 : 第 _____ SBC-確 (計変確) _____ H・Y・M 号 建築主等 : _____ 様			
2. 提出者 (該当欄チェック)	<input type="checkbox"/> 設計者 / <input type="checkbox"/> 工事監理者 / <input type="checkbox"/> 代理者 / <input type="checkbox"/> その他 (※下欄に記入要) 事務所名 : _____ 氏名 : _____ 建築士登録 (_____ 級) 建築士 (_____ 登録) 第 (_____) 号			
3. 関係許認可 (該当欄チェック)	◆建築基準法 (条例)、都計法、盛土規制法、都市緑地法など関係許認可 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ⇒ <input type="checkbox"/> 変更に必要な手続き (変更許可、届出、協議等) 終了しています。 ⇒ <input type="checkbox"/> 検査済であり、当該許認可の変更手続きはありません。			
4. 変更内容 及び 規則第3条の2 該当号	番号	変 更 内 容	・規則の該当号 ※省エネ ルートABC	SBC 記入欄
5. 添付図書	(省エネ軽微ルートCの場合は「軽微変更該当証明書」(図書含む) 写し提出必要)			

(注意)

- ① 軽微な変更該当しないと判断された場合「計画変更確認」または「追加説明書」が必要です。
- ② 枠内に必要事項を記入し、関係図書を添付して下さい。検査申請書三面にも記載を要します。
- ③ 4. には、変更の概要を項目ごとに箇条書きとし、右欄に規則第3条の2該当号を記入して下さい。
- ④ 敷地面積、建築面積、延べ面積、高さ等の変更は数値を明記し、「建築計画概要書」添付して下さい。
- ⑤ 添付図書は、変更後のみとし、変更箇所が明確に判るよう記載 (マーキング、着色等) して下さい。
- ⑥ 建築物省エネ法の軽微な変更を兼ねる場合は※欄にルートA・B・Cを明示して下さい。(規則第十六号該当)
 - A. 省エネ性能を向上させる変更又は性能に影響しないことが明らかな変更
 - B. 一定の範囲内の省エネ性能が低下する変更
 - C. 省エネ計算により基準に適合することが明らかな変更 ⇒別途「軽微変更該当証明書 (追加説明書)」必要